

製品名: FOXC1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01997**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 57 kDa; Observed MW: 75 kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXC1
別名	ARA; IGDA; IHG1; FKHL7; IRID1; RIEG3; FREAC3; FREAC-3
遺伝子 ID	2296
SwissProt ID	Q12948
免疫原	ヒト FOXC1 の組み換えタンパク質

背景

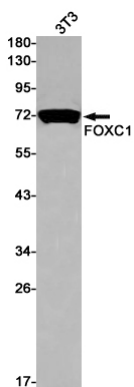
目、骨、心臓血管、腎臓、皮膚の発達など、広範囲の細胞プロセスおよび発達プロセスにおいて役割を果たす DNA 結合転写因子

(PubMed:11782474、PubMed:15299087、PubMed:15684392、PubMed:16492674、PubMed:27907090、PubMed:14506133、PubMed:14578375、PubMed:15277473、PubMed:16449236、PubMed:17210863、PubMed:19793056、PubMed:19279310、PubMed:25786029、PubMed:27804176)。転写活性化因子または転写抑制因子として作用する (PubMed:11782474)。標的遺伝子のプロモーターにおけるコンセンサス結合部位 5'-[G/C][A/T]AAA[T/C]AA[A/C]-3' に結合する (PubMed:7957066, PubMed:11782474, PubMed:12533514, PubMed:14506133, PubMed:19793056, PubMed:27804176)。DNA に結合すると、DNA の屈曲を促進する (PubMed:7957066, PubMed:14506133)。転写共活性化因子として作用する (PubMed:26565916)。転写因子 GLI2 を介してインドヘッジホッグ (Ihh) 誘導標的遺伝子発現を刺激し、軟骨内骨化を制御する。また、乳がん細胞において GLI2 の DNA 結合能を高めることで転写共調節因子としても作用する (PubMed:26565916)。プロモーター領域内の保存要素 5'-GTAAACAAA-3'への結合を介して FOXO1 を制御することで、FOXO1 が眼における細胞生存率と酸化ストレス耐性の重要な調節因子であることを示唆している (PubMed:17993506)。転写因子 FOXO2 と協力して、足細胞の完全性を維持する遺伝子の発現を制御する。TGFB1 を介したシグナルを介して細胞周期を G1 期で停止させることで、細胞増殖抑制を促進する (PubMed:12408963)。細胞増殖、遊走、浸潤を促進することで上皮間葉転換 (EMT) 誘導に関与する (PubMed:20406990、PubMed:22991501)。CXCR4 発現の制御を介して、ケモカイン CXCL12 誘導性内皮細胞遊走に関与する。表皮ケラチノサイトの終末分化に必須の遺伝子制御ネットワークにおいて役割を果たす (PubMed:27907090)。体節、皮膚、骨、軟骨などの中胚葉由来組織に必要な必須発生転写因子。骨髄間葉系前駆細胞における CXCL12 および幹細胞因子の発現を正に制御し、造血幹前駆細胞 (HSPC) の間葉系ニッチの発達と維持に役割を果たす。胚発生期において、VEGF 依存的に血管とリンパ管の成長を阻害することで角膜の透明性を維持する役割を果たす。CXCR4 の発現制御を介して、ケモカイン CXCL12 誘導性の内皮細胞遊走に関与する。腫瘍抑制因子として機能する可能性がある (PubMed:12408963)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



FOXO1 抗体を使用した 3T3 溶解物中の FOXO1 のウエスタン プロット分析。